

令和8年 湖西市議会6月定例会

市長あいさつ

令和8年5月29日

(はじめに)

おはようございます。

本日より、令和8年6月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

この4月からは、第6次総合計画の第Ⅱ期実践計画がスタートいたしました。さらに、施策ごとに教育振興基本計画など、各個別計画も策定されており、令和8年度は、より良い「スタートダッシュ」が切れるよう第Ⅱ期実践計画の目標実現に向け、着実に取り組んでまいります。

(近況報告)

ここで簡単ではありますが、この4月からスタートした2つの案件について、ご報告申し上げます。

まず、1つ目は湖西市消防防災センターでございます。

4月より本格的に運用がスタートしており、市民の皆さまには、一般向け見学会を3回開催し、延べ参加者68組230人が参加されました。参加した市民からは、「以前の施設と比べ設備等も刷新され、特に消防職員の皆さんにとって職場環境が大幅に改善されたことが何よりだと思った」や「2階に展示してある消防の歴史や、普段使用している道具が見られてとても興味深かった」、「展示においては、子どもたちが楽しめる工夫がされており魅力的だった」といったご意見も頂いております。

次に、2つ目は乳児等通園支援事業、こども誰でも通園制度でございます。

市内の地域子育て支援拠点施設「にこりん」と「のびりん」の2箇所を受け入れを開始いたしました。今月24日時点で、実人数11人、延べ人数33人の利用がございました。こどもの育ちを支援する制度として、必要とする方に広く利用していただけるよう、制度の周知及び利用促進に努めてまいります。

(中東情勢に伴う影響について)

続いて、2月に発生したイスラエル・米国によるイランへの軍事攻撃を契機とした中東情勢の影響について、現時点での状況をご報告申し上げます。

まず、市民生活におきましては、指定ごみ袋の供給不足が懸念されておりますが、本市の指定ごみ袋は十分な在庫を確保しており、今後も安定的に供給できる見込みです。市民の皆さまにはご安心いただけるよう、情報提供に努め、引き続き状況を注視し、必要に応じて柔軟に対応してまいります。

市内事業者に関しましては、商工会を通じた情報収集を行い、状況の把握に努めております。現在、ナフサ由来製品であるポリ袋やシンナー等の供給不足が、特に建設業を中心に影響を及ぼしているほか、塗装工程を有するモノづくり企業にも影響が広がっており、事業規模が小さいほど厳しい状況に置かれているとの報告を受けております

さらに、介護事業者や民間保育園等ではビニール手袋などの欠品が確認されておりますが、現時点においては事業活動に対する大きな影響はない模様です。それでも、事業者の皆さまには引き続き不安やご不便が生じていることと存じますので、引き続き情報収集に力を入れ、寄せられた情報は速やかに国・県へ提供するとともに、必要に応じて迅速な対応ができるよう努めてまいります。

市政運営において、公共工事への影響が懸念されており、特に給食センター等の工事に遅延が生じる可能性があります。現時点では遅延は発生しておりませんが、今後の石油製品等の入荷状況によっては、先行きが不透明となる可能性があります。

庁内物品等に関しては、欠品や注文規制が生じておりますが、現段階では大きな影響には至っておりません。

今後、さらに中東情勢の長期化が予想される中で、市内経済にも資材単価や物流コストの高騰が影響を及ぼし、事業者の経営負担が増大することが懸念されます。また、消費者物価の上昇により、市民の生活が圧迫される恐れもございます。これらの問題に対し、市としても事業者支援の体制を引き続き強化し、市民生活の安定に向けて状況を注視してまいります。

今月 26 日には、国において、中東情勢を踏まえた令和 8 年度補正予算等が閣議決定されるなど、各種支援に向けた動きが始まっております。市民生活や事業者を取り巻く課題については、国・県と連携しながら、市として可能な施策について検討を重ねてまいります。

では、ここからは、第 II 期実践計画にもとづき、「暮らしやすさの向上」と「元気なまちの実現」に向けた施策のチャレンジの状況をご報告申し上げます。

#### (暮らしやすさの向上)

暮らしやすさの向上について、持続可能な地域医療体制の確保に向けた取り組み状況をご報告申し上げます。

まず、湖西病院においては、湖西市の医療需要や病院の現状および経営状況を踏まえ、「湖西病院の在り方」に関する院内での協議を行うため副院長や看護師長など 5 名で構成するプロジェクトチームを立ち上げました。このプロジェクトチームでは、病床数の適正化を考慮した削減や診療科目の見直し等についての検討を進めており、今年度中に取りまとめを行う予定でございます。

次に、デジタル技術を活用した教育支援についてご報告申し上げます。

公約にも掲げさせていただいたとおり、児童・生徒一人ひとりの理解度に合わせた最適な学習内容を提供することを目的に、4 月より「AI を活用した教育アプリ」を新たに導入し、児童・生徒は使用を開始しております。学習支援状況については、昨年と比較して ICT 教育の活用率が向上しており、今後の学習効果に大きな期待を寄せております。

### （元気なまちの実現）

次に、元気なまちの実現についてご報告申し上げます。

まず、賑わいの創出に関しては、昨年度好評を博した『わしづ駅前ちょこっと夜市』は、6月5日から開催いたします。今年度は、「開催時期を前倒し」し、「出店店舗数を拡大」とするとともに、「民間イベント「踊ろフェス」との連携」を図るなど、3つのポイントでパワーアップしております。これにより、さらに多くの方々にご来場いただけるよう、引き続き取り組んでまいります。

また、昨年度からの「ちょこっと夜市」を中心にまちなか活性化に向けた取り組みを進めておりますが、さらに前進させるため、4月からは市の公式ウェブサイトや地域活性化ポータルサイト「JOIN（ジョイン）」を通じて、地域おこし協力隊の募集を開始いたしました。地域の魅力を高め、「挑戦しやすいまち」や「若い世代が訪れるまち」としての価値を育んでいくため、今後、イベント運営や拠点管理を担う人材を登用してまいります。

### （官民連携）

最後に、民間の活力との連携についてです。

民間事業者との連携においては、市政の課題について積極的に意見交換を行い、「みらいのこさい課題解決実証実験」などの制度を促してまいります。この実証実験は、令和3年から継続して取り組んでいる事業であり、実証実験を通じて社会課題の解決や市民サービスの向上、先進事例の導入、財政負担の軽減、そして事業の効率化を推進することを目的としております。

今年度はこの制度などをさらに活用し、トライアル&エラーの精神で新たなチャレンジをしてまいります。必要に応じて、私自身が企業トップへの意見聴取なども行い、進出果敢に取り組んでまいります。具体的には、公共空間の活用や来訪者への移動手段の確保など、幅広い分野で民間事業者への働きかけを行い共創や連携の可能性について探ってまいります。

この他にも、これまで継続している下水汚泥等を活用した実証実験につきましては、産学官の連携をさらに深め、民間が所有する新技術の活用検証などへ移行するよう、積極的に進めてまいりたいと考えています。また、HKTや公共施設の統廃合による旧施設や跡地の利活用などは、市民の皆さまとの対話を引き続き大切にし、事業が効果的に進むよう、全力で取り組んでまいります。

### （結び）

結びに当たりまして、今回、本6月の定例会に提案させていただきます議案は、条例の改正、補正予算等々の12件となっております。

後ほど個別にご提案をさせていただきますので、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

以上で私の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いをいたします。  
ありがとうございました。

以 上